

事業所名

かりん 共生型放課後等デイサービス

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和 7 年

2 月

18 日

法人 (事業所) 理念		誰もが一人の人として尊重される権利を有していることを意識し、その持てる力を最大限に発揮し生きることが支援する。人として尊厳を尊重し、その人らしく暮らすと言う事を模索し丁寧な支援を継続する。	
支援方針		集団活動を通して、コミュニケーションや社会性、ADLの向上を図って行きます。また、個別の支援ニーズに応じた個別プログラムの構築を行ない、それぞれの現状に合わせた課題構成を行ない、「考える力」を伸ばしていきます。	
営業時間		9 時 00 分から 18 時 30 分まで	送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつは、お菓子類だけでなく、軽食類の提供を行ないます。偏食傾向にある子どもの食事の幅を広げる事とともに提供形態や食べ方(スプーンやフォーク等道具の扱い等を含む)に関して支援を行ないます。 また、夏休み等の長期休暇時には昼食としてご希望される方には事業所厨房で調理した給食提供を行なっています。栄養士作成の献立を基に栄養バランスを踏まえた食事提供を行なっています。 ・歯磨き、生活習慣の獲得として、おやつ後(休日は昼食後も含)には必ず歯磨きを全員実施しています。重度のお子さんたちには歯磨き習慣の獲得と磨き方の獲得を、一定のご自身で行なう事できるお子さんに対しては鏡等を用い、磨き残しがないかの確認を職員と一緒に進めていきます。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ローラースケートを使用した室内運動を行ない、サーキットトレーニングと合わせてバランス機能や体幹トレーニングとして実施をしています。また道具の扱い方、コース変更やルールの追加等お子さんに合わせた課題提供を行ない、思考性を持ったプログラム提供を行なっています。 模倣動作：姿勢の保持、多様の動作の習得に加え、他者の動きを観察し自身に置き換えて真似をする社会的スキルの獲得に繋がります。【例：粗大動作・動作保持・左右非対称の動き】 ➡模倣動作は、他者の動きを見て行動を取る観点から「人間関係・社会性」にも繋がります。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達段階に合わせた課題提供を行なっています。(プリント課題・マッチング・ブツイン・パズル・ハサミ練習・運筆課題等)。 視覚情報：認知発達に関連する、目から入る情報の処理スキルの獲得に繋がります。【例：ジグソーパズル・積み木操作】 注意流暢性：連続した指示や多様な指示に応じることで、注意の維持・気持ちと行動の切り替えが出来る力を促します。【例：追視・フラッシュ】 数：数字・数量の理解など、数概念の獲得を目指します。【例：数字のマッチング・数唱・数え上げ・〇個渡す】 スキル：主に就学後に必要となるスキルの獲得を促すことで、集団に参加するための手順やルールを理解し、安心して学校生活を過ごせることを目指します。 【例：国語・算数のプリント・集団に必要なスキル(プリントを後ろの人に回す・拳押し発信する)・道具スキル(鉛筆削りの使い方・ランドセルの扱い方)】 ➡スキルは、集団での行動・他児や先生とのやり取りが求められる観点から「人間関係・社会性」「言語・コミュニケーション」にも繋がります。 	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の宿題・SST(ソーシャルスキルトレーニング)を通じたコミュニケーション課題、小集団での学習課題(ルール・マナー・順番/マッチング・書字課題等)、ボードゲーム等を通して「勝ち・負け」等から自身の気持ち、相手の気持ちを考えるトレーニング等を実施しています。 音声模倣：様々な音の発声を促すことで、言語の形成に繋がります。【例：口辺模倣・単音模倣・笛や風車を吹く】 要求：欲しいものやこと、拒否の要求をサイン・カード・音声などお子さんに合った方法で周囲に伝えられるようになることを目指します。【例：サインで要求・2語文要求・拒否・PECS】 受容語彙・概念：言葉での働き掛けを理解し、対応した動作をしたり、物を選択する行動が安定して出来る状態を目指します。【例：動作指示の理解・名詞や動詞の理解】 叙述語彙・概念：言葉で自分が見たもの、経験したことなどの情報を他者に伝える力を育てます。【例：名詞や動詞の表出・2語文での表出・経験の報告】 会話：他者の言葉に対して、対応する言葉で反応する力を育てます。言葉でのやりとりのレパートリーを増やし、相互的なコミュニケーションを図ることに繋がります。【例：掛け声の続きを言う・自己情報を答える・相槌を打つ・交互に話す・テーマに沿って話すなどの会話ルール】 文字：特性に合わせてひらがなの読み書き、単語や文章の意味理解などを進めることで、読み書き能力の向上を目指します。【例：ひらがなの読み・アナグラム(単語作り)・文字で書かれた指示の理解】 	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・サーキットトレーニング(踏み台昇降・平均台・トランポリンの3種目を1セットとして周回する)を通し、バランス感覚を養うや身体機能向上を図っていきます。また、複数名の子どもで実施をし、「着席して名前が呼ばれるまで順番を待つ」「周回したらトークンを貼る」等プログラムのルールや他者の動きを意識した自身の動きをイメージできるようにしています。 ・小集団での活動時において、プログラムのテーマを決め(制作活動やおやつ時の食器洗いなどの分担作業)お子様同士に役割やその分担を決めて頂く等のやり取りや発信の機会を設け相手の話を聞き取る、ご自身の考えや思いを伝える。話の内容に折り合いをつける等他者との関わり方を学ぶ時間を設けています。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ①相談支援の実施 毎回の利用において、お子さんの最近の様子(ご自宅・学校などの)や困り事などを丁寧に伺い、解決へ向けた相談援助の機会を設けています。 ②支援方法の共有 事業所で実施している課題やプログラム等でご自宅でも取り組んで頂けるものに関して方法やツールを提案、双方での情報共有を行なっています。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ①特別支援学校・支援級との情報共有 お子さんの療育場面での様子や特別な配慮が必要な点について、各学校と情報を共有します。また、必要に応じてミーティングの機会も設け、お子さんの実情に寄り添った支援を進め、様々な場面で一貫したサポートが受けられるよう努めています。 ②相談支援事業所への情報共有 地域の相談支援事業所と連携し、お子さんとご家族が継続してサポートが受けられるよう情報を共有しています。
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議等を通し、ご本人を取り巻く関係機関と連携しながら一貫した支援への取り組みができる様協力していきます。 ・お子さんの日々の様子や状態から、必要に応じて医療(心療内科・歯科など)とも連携を取り、暮らしやすい日常のサポートをしています。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ①法人内部でのスーパーバイズ 日々の支援を通して、職員の実践力・分析力が高まるようアドバイザーが定期的に現場に入り、具体的なアドバイスや効果的な支援方法を提供しています。 ②法人内部研修 自身で発達障害や関連疾患などテーマを決め、それに沿って1年間自己学習が出来る機会を設けています。また、学習の成果として法人内での発表会も実施しています。 ③作業療法士とのコンサルテーション 月に1回、作業療法士とのコンサルテーションを実施。お子さんの運動機能面に関してアドバイスをいただき、療育での実践を進めています。
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流イベントへの参加 成人事業の保護者の会・法人が企画するイベント。社会参加を通じて地域住民の方々と繋がり、スポーツイベントや音楽イベント・ミニゲームなど多岐の催し物の経験が出来るよう発信しています。 ・長期休暇時のプログラム実施 夏休みには特別活動としてプール(水遊び)活動の実施をしています。 		